

新型コロナウイルス感染拡大予防に関連した 大会運営と参加規定の設定例

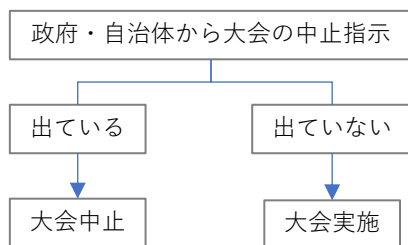
【第44回全国選抜高校テニス大会地区大会用】

当「規定設定例」参考に大会規定を作成する場合は、必ず、出場校および関係者には、最短でも10日前に参加不可となる規定が含まれていますので、それより前に配布し承諾の上参加していただくことが重要です。
また、開催地の状況に合わせて規定内容の検証を行い、調整の後、使用していただく必要があります。

【重要】 今後、政府や監督官庁、関連団体が定めた規定が変わることが想定されます。必要に応じて当設定例は変更の上、大会公式HPで公開いたします。

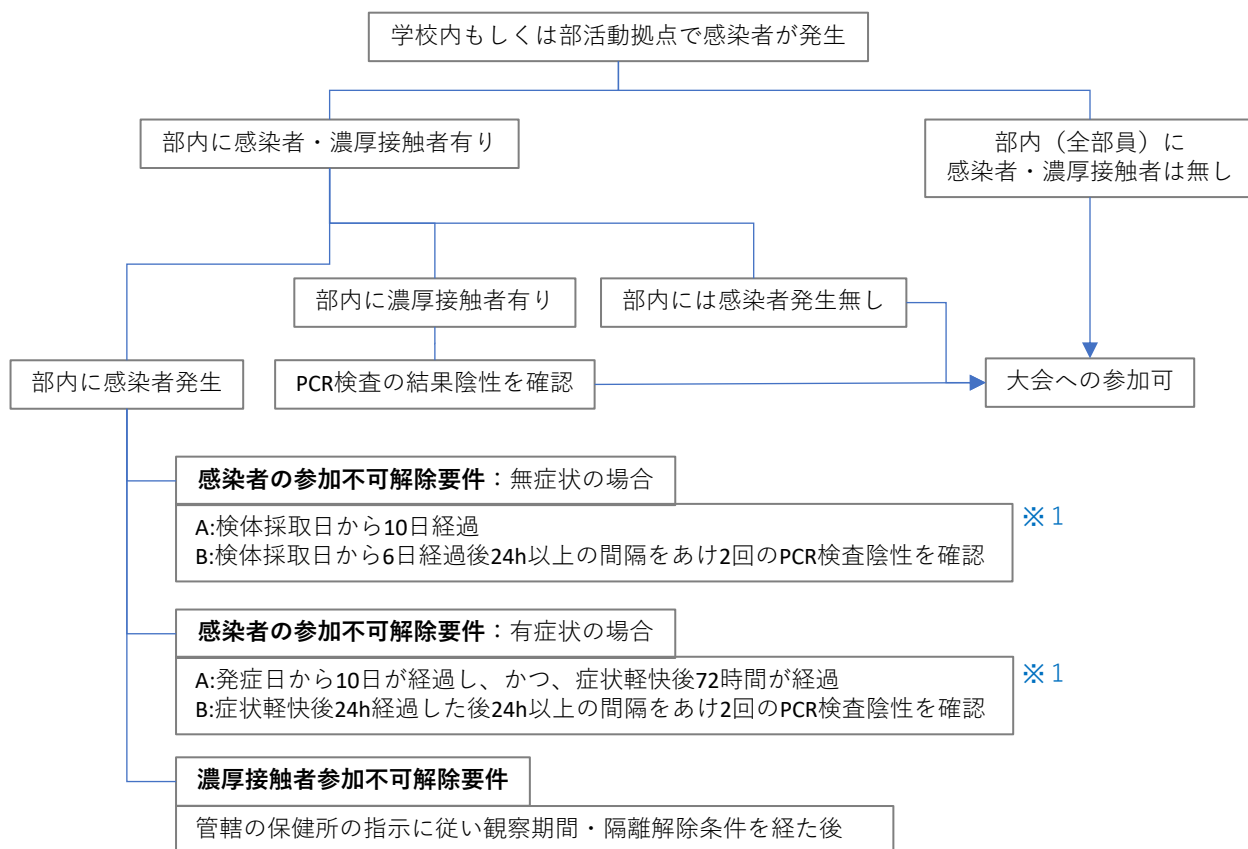
2021年9月23日発表

①大会の実施判断



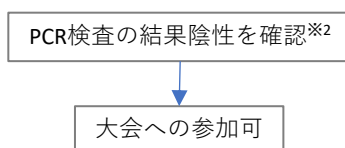
大会の実施について判断が必要になった場合は必ず実行委員会に事前にご報告いただき、協議の上決定してください。

②大会への参加要件



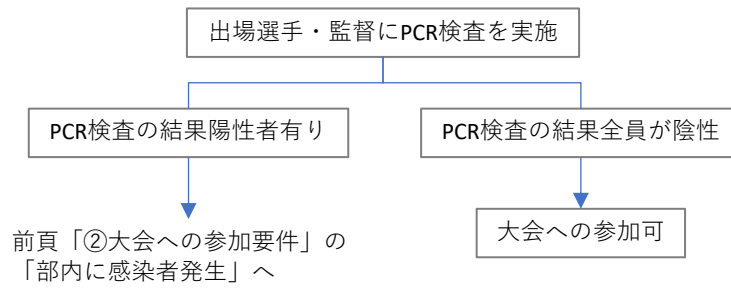
◎部内感染者以外との濃厚接触接触の場合も同様
 ※1：P3に記載した厚労省発表の解除基準と同様に設定

③感染者発生時の感染者・濃厚接触者以外の選手の出場要件



※2：部内感染者が参加不可解除要件を満たした場合は検査不要

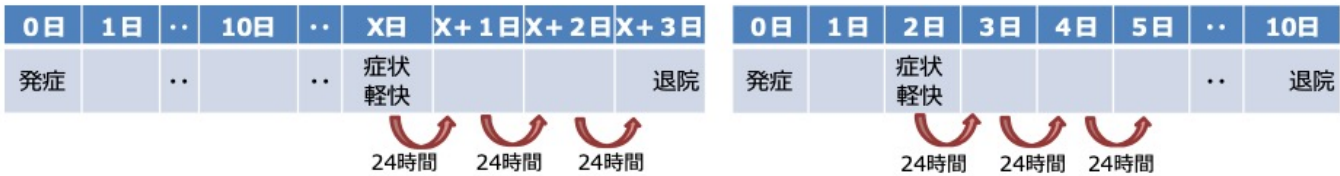
参加要件にPCR検査の陰性を入れた場合



(参考) 期間計算のイメージ図

【有症状者の場合】

① 発症日から10日間経過し、かつ、症状軽快後72時間経過した場合、退院可能



② 症状軽快後24時間経過した後、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能

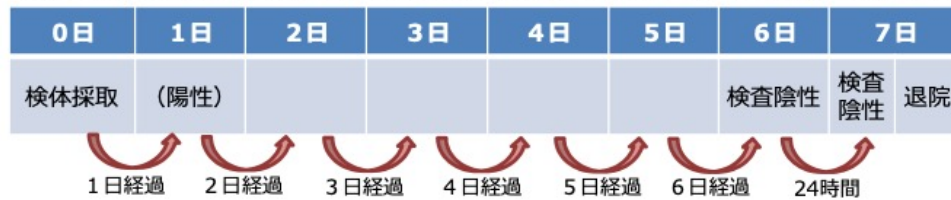


【無症状病原体保有者の場合】

① 検体採取日（陽性確定に係る検体採取日）から10日間経過した場合、退院可能



② 検体採取日から6日間経過後、24時間以上間隔をあげ2回のPCR等検査で陰性を確認できれば、退院可能



出典：厚生労働省「新型コロナウイルス感染症 診療の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000815065.pdf>

感染拡大対策について

(公財) 日本スポーツ協会が発表している「感染拡大予防ガイドライン」、および
(公財) 日本テニス協会が発表している「JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン」、その他自治体が独自に定めた関連規定に則って、感染拡大を防止する対策をかならず策定し大会前に発表してください。

また、策定するガイドラインは、①出場選手向け、②役員・審判員・補助員等の大会運営関係者向け、③観戦者（①②以外の会場内に入るもしくは会場内を通る人全て）向け、の3つのカテゴリーを必ず網羅するようにしてください。

参考

(公財) 日本スポーツ協会 「感染拡大予防ガイドライン」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline4_210215.pdf

(公財) 日本スポーツ協会 「感染予防策チェックリスト」

https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_checklist.pdf

(公財) 日本テニス協会 「JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン」

[https://www.jta-tennis.or.jp/Portals/0/resources/tournaments/pdf/20210714_JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン\(20210714改訂版\).pdf](https://www.jta-tennis.or.jp/Portals/0/resources/tournaments/pdf/20210714_JTA公式テニストーナメント開催ガイドライン(20210714改訂版).pdf)